

スズキ、大阪城東部地区における実証実験に参画 ～スズライド 2 とパートナー企業の MITRA 活用例～



スズライド 2（実証実験用に牽引バーを取り付けた仕様）

スズキ株式会社（本社：静岡県浜松市、代表取締役社長：鈴木 俊宏、以下「スズキ」）は、大阪商工会議所と独立行政法人都市再生機構が公募した「大阪城東部地区における実証実験」において株式会社竹中工務店（本社：大阪府大阪市中央区、代表取締役社長：丁野 成人）が応募し採択された「シェアマイクロモビリティ自律・遠隔牽引実証実験(以下、本実証)」に共同実施企業として参画し、9 月 17 日に実施された本実証に参加しました。

本実証は、UR 森之宮第 2 団地などが実証フィールドとなっています。団地内という街区ラストマイルの新しい移動・搬送サービスとして、安心かつ快適で楽しく移動可能なモビリティや、新シェアサービス実現に向けた自律自動・遠隔操作ロボットによる牽引システム、荷物運搬などをアシストする自動搬送システムの導入に向けて可能性を検証するものです。

本実証にスズキからは開発を進めている「スズライド 2」を提供し参画しました。また、本実証で使用された株式会社山善の「YAMAZEN AMR（牽引タイプ）」、アダワープジャパン株式会社の「建設現場用 遠隔監視ロボット」には、スズキが開発中の電動多目的台車「MITRA」が活用されています。

スズキは、本実証を通じて、人やモノの移動を支える新たなインフラモビリティの可能性を検証します。今後も地域のラストワンマイル課題を解決するモビリティ開発を推進し、誰もが自由に移動できる持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

●ご参考



株式会社山善
「YAMAZEN AMR（牽引タイプ）」



アダワークスジャパン株式会社
「建設現場用 遠隔監視ロボット」

以上